

開発環境を 完璧構築!

出だしてつまづかないために、Android SDK 3.0の
開発環境を完璧にインストールしよう!

アプリ開発をしたいなら 何はなくとも開発環境

Androidのアプリケーション(アプリ)開発を行う場合、何はなくとも開発環境がなければ始まりません。ここでは、まずアプリを開発するための最初のステップとして、開発環境のインストールと整備について解説します。

Android以外の、例えばWindowsやMac OSなど、従来から存在するさまざまなソフトウェア・プラットフォームでも、アプリケーションをビルドするコンパイラや、プログラムを記述するエディタ、それらを統合する統合開発環境(IDEとも呼ばれる)などは必須でした。Androidの魅力の一つは、これらの開発環境が全て無料で入手でき、セットアップも比較的容易かつ短時間に行えることです。

また、開発環境をインストールするOSも、Windowsだけでなく、好みに応じてMac OSやLinuxも選べます。実際、筆者もWindowsだけでなく、Mac OSやLinuxの環境をTPOに応じて使い分けています。

注意が必要なのは、Android自身が

オープンソースでソースが公開されていることから、一言でAndroidの開発といっても、下記の2通りがあることです。

- Androidのハードウェアそのものを開発するために、Androidそれ自身を移植(ポーティング)する
- 市販のAndroid機器上で動くアプリを開発する

どちらの開発をするかで、開発環境のセットアップ方法とスキルが異なります。ここでは、後者の「Androidのアプリを開発」するための開発環境を解説しますので、お間違えなく!!

それでは、Androidアプリの開発環境の構築方法を順次解説していきます。Android SDKのインストールは決して難しいものではありませんが、初心者の方がハマる要素がないわけではありません。これらの、多くの人がハマるトラップについてもできるだけ詳細に解説するので、初めての方でもご心配なく。

本誌のサブタイトルが、「こんなに簡単な～」ですから、初心者の方でもつまづかないように、できる限り詳細に順を追って解説していきます。

アプリ開発に重要なサイトを チェックしよう

開発環境を整える前に、全ての情報の総本山となるサイトを紹介します。

Googleが提供するAndroidの開発者向けサイト(<http://developer.android.com/intl/ja/index.html>)

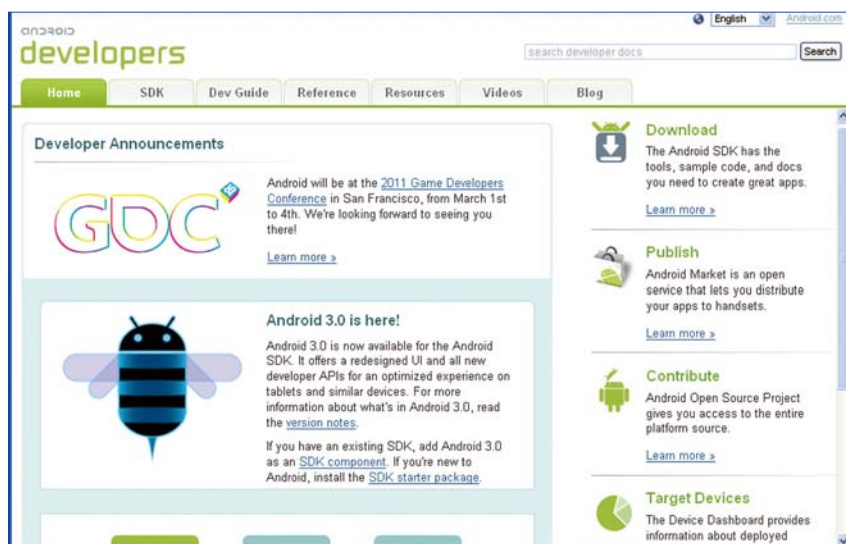


図1 Googleが提供するAndroid開発者向けのポータルサイト